

## 医学系研究科（修士課程）

### 教育課程の構成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

福井大学大学院医学系研究科修士課程では、学位授与の方針で示す能力を確実に修得させるため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

#### 1. 体系的な教育課程（教育課程の編成の方針）

豊かな人間性と高い倫理観，幅広い知識と理論に基づく根拠のある技術力を有し，高度専門的看護ケア実践能力を備えた看護職のリーダーとなる人材を育成し，地域保健医療福祉に貢献できる看護職および看護学を体系化・深化させる研究を遂行できる指導的役割を担う教育・研究者を養成するため「看護学専攻」に科目を編成します。

- (1) 論文課程では，基礎看護学，成人看護学，災害看護学，地域看護学，老年看護学および母子看護学の科目を設け，講義，演習および学位論文等の作成に必要な特別研究科目を配置します。
- (2) 専門看護師教育課程では，講義および演習により，各専門分野に必要な基礎的な知識・技術を修得させ，演習および実習により，エビデンスに基づく確かな判断，卓越したケア技術とキュアの知識を修得できるよう科目を配置します。

#### 2. 効果的な教育方法（教育課程における教育・学習方法に関する方針）

- (1) 社会人大学院生に対して教育方法の特例を適用した柔軟な授業形態や履修指導を行い，学外非常勤講師による講義を活用し，教育目標を達成するための教育指導を行います。
- (2) 研究の進捗状況等を発表する中間研究報告会を義務付け，研究内容や手法について，指導教員以外や学生同士での助言や検討の場を設けます。また，修士学位申請時に，学位審査を兼ねた修士論文公開発表会を行います。
- (3) 大学院生ごとに指導教員を置き，必要に応じて副指導教員を配置します。
- (4) 共通および専門の各授業科目に教科主任となる科目担当責任教員を置き，授業内容に応じて複数の担当教員により実施される授業の一貫性を担保します。

#### 3. 厳格な学修評価（学習成果の評価の方針）

- (1) 科目の成績評価は，「福井大学における多面的かつ厳格な成績評価のガイドライン」に沿って行います。
- (2) 研究成果や研究遂行に求められる能力については，修士論文審査実施要項に定められた論文内容の信頼性及び発展性等の観点から評価します。

#### 4. 改善のための教育評価

修士課程で実施する教育をより良いものとしていくため，カリキュラムや授業科目について，成果やアンケート等に基づき，随時，評価と検証を行い，継続的な改善に努めます。